



発行所 国鉄労働組合 盛岡地方本部
発行 佐々木 力
編集 及川 孝
TEL 019-622-5021
メールアドレス nrumori@poem.ocn.ne.jp

2016.6.10
第1494号

拡大キャッチコピー
「新しい仲間づくりを 皆の力で」
「一緒に解消しませんか、あなたの疑問。 加入ってます」

第10回全国組織強化・拡大大会 経 験 交 流 集 会

職場の問題解決と拡大の結合を

◇もう一人の仲間の組織化に全力◇

本部は6月5日(日)・6日(月)に、神奈川県箱根町・ホテル開雲で「第10回全国組織強化・拡大経験交流集会」を開催した。機関役員を中心に全国から123人の仲間が集まり、とりわけ66人の青年部員が集まる等、大変活気のあるものとなった。地方本部からは女性部・小林楓さん(八戸運輸分会)と菊池要悦組織部長が出席した。10回という節目を迎えた今回の経験交流集会は、全国の仲間が一堂に会することでより幅広く運動の交流を図ることを目的に、従前の東西ブロック別を見直して開催された。なお、今交流会の中で一名の青年が国労加入を決意してくれた。盛岡地本においても「もう一人の仲間」の組織化に全力を挙げよう。



＝参加した青年部による記念のスナップ＝

123人の参加で意見交流

「盛岡からも2人が参加」

井村好博総務財政部長の司会が始まった交流会は、坂口智彦中央執行委員長の「組織拡大に向け、分会活動のよ

さんが「いま、労働組合を語る」と題して講演。東海林さんは、「安倍政権の労働政策のキーワードは『失業なき労働移動』であり、それは雇用の流動化を意味し、目指すものは労働の商品化であるけれども、私達は無力ではない。労働者の分断に抗して未組織の非正規労働者との連帯を強めていくことである。国労には他のJ・R産別にはない共闘の仲間との連帯がある」と話した。地区労センター等の多くで国労組合員が役員を担っている。私達は、地域の仲間との交流を深めて行く中から団結と連帯を強めて行かなければならない。

「戦争法」の廃止を目指そう 推せん候補の当選に全力を

＝第24回参議院議員選挙＝

6月22日公示・7月10日(日) 投票第24回参議院議員選挙の実施が決定された。地方本部もすでに別掲の比例代表の吉田忠智(社会民主党公認)、岩手・青森県選挙区の野党統一候補の木戸口英司・田名部匡代予定候補3氏を推薦決定している。

【プロフィール】1956年3月大分市生まれ。九州大学卒業。大分県庁に入職し農業土木技術者として農村整備事業などに従事。自治労大分県本部書記長3期。県議会議員3期。2010年参議院議員に当選。2013年党首就任。



▽比例代表 吉田 忠智(現) 60歳 社会民主党公認

【プロフィール】1963年8月花巻市生まれ。千葉大学法学部卒業。小沢一郎衆議院議員第2・1・政策秘書。2003年岩手県議会議員当選。2007年4月から達増拓也知事の政務秘書。「いわて復興塾」では事務局を担当。



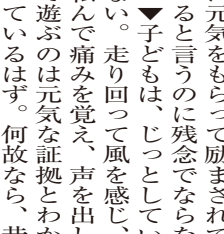
▽岩手選挙区 木戸口 英司(新) 52歳 無所属(野党統一候補)

【プロフィール】1969年7月生まれ。玉川学園女子短期大学卒業。衆議院議員田名部匡省秘書。南部山アيسアリナ勤務。2003年衆議院議員初当選。通算3期(農林水産大臣政務官、農水委員会議事録理事任)



▽青森選挙区 田名部 匡代(新) 46歳 無所属(野党統一候補)

【プロフィール】1963年8月生まれ。千葉大学法学部卒業。小沢一郎衆議院議員第2・1・政策秘書。2003年岩手県議会議員当選。2007年4月から達増拓也知事の政務秘書。「いわて復興塾」では事務局を担当。



▽岩手選挙区 木戸口 英司(新) 52歳 無所属(野党統一候補)

婦・加入した郡山駅連合分会の二ノ宮健さんをはじめ青年部員から国労加入の経緯について報告がされたが、共通しているのは①強引な労働加入方法への違和感を持っていったこと②役員押し付けに対する反感を覚えていたこと③分会執行委員会では職場問題が議論されることなく、参議院選挙に向けた取り組みや動員要請のみであること④役員と青年との間に「溝」があるということであった。また、職場の問題について国労は解決

に向けて努力し、その結果を「返して」くれたことが国労への信頼へとつながっていったとも報告された。二日間の分散会であったが、分散会報告の中では加藤照代女性部長による報告が強く印象に残っている。それは、「女性だけの分散会ということでは気兼ねなく、楽しく交流ができた。女性を巡る働く環境も大きく変化している中で、働き続けることは大変。けれども、もう一人の仲間作りのために視点を改めて取り組んでいきたい」という発言。いま、職場では「マイ・プロ」や超勤など、とりわけ若手社員に多くの負担が強いられている。私達国労は、こうした若手社員とどう向き合うのが問われている。「仕事をキーワードに職場の中心軸へ」と地方本部はこの間提起し続けているが、それは単に仕事ができる



「21人が参加し作成方法等で交流」

「21人が参加し作成方法等で交流」 挨拶を行った。 続いて、及川教宣部長が機関紙の発行に向け、難しく考えず、1人での取り組みは大変なので、何人かで身近な問題を記事にし、発行機関は継続して、未発行の機関紙はまず第1号の発行を述べ、World 2010基本講座とシキキス トボックス文字の配置、写真や画像・図の挿入、写真等の画像を好きな形状に加工の方法などについて、プロジェクトを活用しながら機関紙作成の要領を説明した。 参加者からは具体的に作成している時点での問題や操作の質問が出され、及川教宣部長、遠藤書記が分会で発行されている機関紙を参考に操作事例を紹介したり、参加者からの意見を取り入れたら、短い時間ではあったが、パソコンによる機関紙作成の意見交換が有意義に行われた。 最後に及川教宣部長が「今回の交流会を踏まえ、発行分会は発行に努力し組織拡大の取り組みと結合して」と訴え交流会を終了した。

と行くことである。 本部は来年も経験交流会を開催する予定である。盛岡地本としても一人でも多くの青年・女性に参加できるように取り組みを強めていきたい。

地方本部は、5月21日に第2回機関紙交流会を21人の参加者の中、盛岡国労会館4階会議室で開催した。 交流会は、菊池組織部長が地方執行委員会を代表し18歳の新規採用者の国労加入の報告と組織拡大、参議院選挙の闘いについて、同時に教宣活動と連動した取り組み要請の

地方本部は、5月21日に第2回機関紙交流会を21人の参加者の中、盛岡国労会館4階会議室で開催した。 交流会は、菊池組織部長が地方執行委員会を代表し18歳の新規採用者の国労加入の報告と組織拡大、参議院選挙の闘いについて、同時に教宣活動と連動した取り組み要請の

「21人が参加し作成方法等で交流」 挨拶を行った。 続いて、及川教宣部長が機関紙の発行に向け、難しく考えず、1人での取り組みは大変なので、何人かで身近な問題を記事にし、発行機関は継続して、未発行の機関紙はまず第1号の発行を述べ、World 2010基本講座とシキキス トボックス文字の配置、写真や画像・図の挿入、写真等の画像を好きな形状に加工の方法などについて、プロジェクトを活用しながら機関紙作成の要領を説明した。 参加者からは具体的に作成している時点での問題や操作の質問が出され、及川教宣部長、遠藤書記が分会で発行されている機関紙を参考に操作事例を紹介したり、参加者からの意見を取り入れたら、短い時間ではあったが、パソコンによる機関紙作成の意見交換が有意義に行われた。 最後に及川教宣部長が「今回の交流会を踏まえ、発行分会は発行に努力し組織拡大の取り組みと結合して」と訴え交流会を終了した。

当面の主な日程
▽6月23・24日(横浜) 第15回東日本運輸協議会貨物運輸士学習・交流会
▽7月2日(東京) 東日本本部「主務職・助役職」等交流会

▽7月9・10日(軽井沢) 東日本本部女性部第26回明るく元気に学習交流会
▽7月28・29日(高崎地本内) 第85回定期全国大会
▽7月28・29日(平石) 東日本運輸協議会東北ブロック交流会

機関紙のレベルアップ 発行日ざし努力しよう

地方本部機関紙交流会

地方本部は、5月21日に第2回機関紙交流会を21人の参加者の中、盛岡国労会館4階会議室で開催した。 交流会は、菊池組織部長が地方執行委員会を代表し18歳の新規採用者の国労加入の報告と組織拡大、参議院選挙の闘いについて、同時に教宣活動と連動した取り組み要請の

ていこう
日本には、四季を感じる。四季を感じることで五感を鍛え心身ともに健康に成長することができ、風の音や匂い、蝉の鳴き声や花火の音、温度の移り変わりや白鳥の飛来など春夏秋冬、感じ方は十人十色。そんな一年を通して最近気になっていることがある。小学校の年中行事の一つである運動会の音が静かになったこと。「頑張れ」という元気に応援する子ども達の声やスピーカーから流れる音が、以前は家の中に居ても聞こえてきて「今年もこの時期がやってきたか」と心地よく5月を感じたものだった。しかし、ここ数年、聞こえてこない。学校側の近隣周辺への配慮であろう反面、言い知れぬ寂しさを感じる。▼「保育園落ちた」ブログを契機に政府が待機児童解消に向けた対策を急ぐ中、次は「子どもの声うるさい」という住民の反発で保育園の新設、開園が中止に追い込まれているという新聞の記事。「住み慣れた静かな住宅街に子どもの声が響くのは騒がしくて困る」と話した60代主婦。まだ分別のつかない子どもたちの騒音音のどろろか。仮設住宅に住んでいるお年寄りには、子どもの声に元気をもらって励まされていると言っているのに残念でならない。▼子どもは、じっとしていない。走り回って風を感じ、転んで痛みを覚え、声を出して遊ぶのは元気な証拠とわかってはいるはず。何故なら、昔から誰もがその時を経て今があるのだから。▼少し見方や考え方を変わるだけで心にゆとりが生まれる。五感を研ぎ澄ましてみると子ども達の声も日本の将来を担う明るい声に聞こえてくるのかも知れない(智)

学び・連帯・団結が国労の力

国労結成70周年記念講演・レセプション



国労結成70周年記念レセプション

乾杯しレセプションへ



格化しス トライキ

国労結成70周年を記念した講演とレセプションが5月21日開催されました。記念講演(交通ビル)は、講師に国労弁護団として50年

間私たちの運動にかかわっていただいている宮里弁護士をむかえ、団結破壊と組織攻撃との闘いの連続だった国労運動の70年を振り返りました。

1976年からはスト権ストへの報復として202億損害賠償攻撃との闘いです。弁

護団懸命の努力で18年4ヶ月間判決を出させず、分割民営化で当局が取り下げるという形で終結しました。

解雇撤回闘争を解決し、和解から組織拡大へ、運動はこれからも続いていきます。

その後、岩教組と高教組の仲間から決意表明が行われ、最後に社民党の小西和子議員の音頭で「団結ガバロー」を三唱し閉会した。



=盛岡地本も元気に参加(5月26日開会式)=

〈参加選手名簿〉

氏名	職場名	分会名
監督 菊池 辰夫	一関保線技術センター	一関工務分会
主将 伊東 馨	八戸新幹線保線技術センター	八戸工務分会
選手 鈴木不二人	盛岡保線技術センター	盛岡施設分会
選手 高橋 幸治	盛岡電力技術センター	盛岡電気分会
選手 佐々木 忠	盛岡総合鉄道	盛岡貨物分会
選手 吉田 等	出向/ロジステック盛岡	盛岡貨物分会
選手 久保田勝雄	盛岡総合鉄道	盛岡貨物分会
選手 佐藤 仁	一関保線技術センター	一関工務分会
選手 八嶋 昌二	青森運輸区	青森運輸区分会
選手 八戸 勝則	青森運輸区	青森運輸区分会
選手 阿保 浩志	青森運輸区	青森運輸区分会
選手 逢坂喜美雄	出向/青い森鉄道	青森施設分会
選手 澤頭 俊幸	八戸運輸区	八戸運輸分会
選手 工藤 賢二	八戸工務分会OB	八戸運輸分会
引率者 及川 孝	盛岡電力技術センター	地方本部

第15回東日本本部軟式野球大会

盛岡地本チームが初優勝

2日目雨、抽選での栄冠

第15回国労東日本本部軟式野球大会は5月26日・27日の両日、東京都の大井ふ頭中央海浜公園野球場で開催され、東日本の各地から10チームが参加して熱戦が繰り広げられた。盛岡チームは、菊池辰夫

選手(八戸工務分会)が先発し、両チームの好プレーで、試合は5回まで1対1のテンポの良い好ゲームとなった。盛岡は6回のチャンスに吉田等選手(盛岡貨物分会)がライト前にヒットを打ち、2点勝ち越し。続く7回にも連打から2点追加点を挙げ東京Bを突き放し、完投した伊藤選手が反撃を1点に抑え5対2で勝利した。

閉会式後に菊池監督が、「決勝の抽選は、選手の熱意で勝ち取ったものである。この結果を、今まで野球チームをけん引してくれた浅井前監督や故・笹山さんに報告したい。人が人もなく無事大会を終えることができ感謝する」とのあいさつで締めくくり会場を後にした。

大会2日目はあいにくの雨模様となり、大会会場の会議室に集合した大会役員・審判団・各チームの代表者が会議を開催し、この場で2日目の試合を中止することが決定した。決勝進出チームを決定するための具体的な抽選方法が全体の承認で決められ、3位決定戦が長野と東京Aが抽選し、東京Aが3位。決勝に残った盛岡と仙台が抽選の結果、盛岡が見事に当たり抽選を引き当て初優勝。仙台が2位となった。また、個人賞では1回戦を完投し勝利投手となった伊藤選手が「最優秀投手賞」、同試合で勝利打点を挙げ



「デモ・シュプレヒコールでの訴え」

岩手県連合の細川光正幹事長が開会挨拶。主催者を代表して戦争をさせない!岩手県委員・社民党岩手県連合・平和環境岩手県センターの3団体が主催する「安倍政権を打ち倒そう!戦争をさせない!戦争をさせない!岩手県民総決起集会」が5月14日、盛岡市の岩手県公会堂で開催された。安倍政権の退陣と戦争法の廃止を求める岩手県民・労組団体ら約300人が参加した。(国労は15人が参加)

集会は、社民党岩手県連合の細川光正幹事長が開会挨拶。主催者を代表して戦争をさせない!岩手県委員・社民党岩手県連合・平和環境岩手県センターの3団体が主催する「安倍政権を打ち倒そう!戦争をさせない!戦争をさせない!岩手県民総決起集会」が5月14日、盛岡市の岩手県公会堂で開催された。

戦争法をさせない岩手県民総決起集会

戦争法の廃止求め300人 佐高信氏が辛口のトーク

表して戦争をさせない!岩手県委員・代表呼びかけ人の石橋乙秀弁護士が、「戦争法が成立したが、我が国の反対運動がこれほど継続しているのはめずらしいこと。国民は憲法の危機と国のあり方が変わる」と感じている。安倍首相は明治憲法の流れを引き継ぎ、1番が国で2番が国民の生活という考えだ。参院選を勝利し安倍政権を打ち倒そう」と挨拶した。続いて、社民党東北ブロック協議会の田山事務局長が「東北の全ての県で自公政権を倒し、安倍首相を退陣に追い込むことが1番の課題である」と訴えた。

東北ろうきん キャンペーン期間 6/1(※)~7/31(※)

サマーキャンペーン2016

熊本地震復興支援

新規で5万円以上の定期預金(1年もの)をお預入れの方は店頭表示金利に年0.10%を上乗せします。

店頭表示金利に年0.10% 年0.10%

右記対象取引のいずれかをご契約・お申込みいただいた方に

スマート エマージェンシーボトル(簡易防災グッズ)をもれなくプレゼント!!

対象のお取引

- 定期預金(5万円以上の新規お預入れまたは増額書替)
- 積立型預金(財形・エース預金)の年間積立額5万円以上の新規契約または3万円以上の増額契約
- マイプランの新規ご契約
- 無担保ローン(マイカーローン・無担保住宅ローン・教育ローン・フリーローン)の新規ご契約
- 住宅ローンの新規お申込み

<問い合わせは>東北労金へ ☎ 0120-1919-62 (イメージ)